

2026年5月15日

立命館アジア太平洋大学

株式会社エターナルホスピタリティグループ

立命館アジア太平洋大学とエターナルホスピタリティグループ、 地域の振興および次世代人材の育成に向けた包括連携協定を締結

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市 学長：米山 裕 以下 APU）と株式会社エターナルホスピタリティグループ（本社：大阪府中央区 代表取締役社長 CEO：大倉 忠司）は、2026年5月15日（金）、相互の人的・物的資源を有効に活用した包括的な連携協力に関する包括連携協定を締結しました。



（写真左から）立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕、
株式会社エターナルホスピタリティグループ 代表取締役社長 CEO 大倉 忠司

本協定は、APU の多角的な教育・研究資源と、エターナルホスピタリティグループのビジネス創出における知見を融合させるものです。これにより、多様な視点を備えたリーダーの育成、ユニバーサルデザインの社会実装、そしてダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DE&I）のさらなる加速を目指します。

連携協力事項

下記の5点について連携してまいります。

- (1) エターナルホスピタリティグループが保有するグローバル経営の知見共有と教育的交流
- (2) 多文化リサーチ・資源を活用した共創活動
- (3) グローバル社会における課題解決への貢献
- (4) 相互の人的交流
- (5) 包括的な目的達成のための戦略的協力

なお、具体的な取り組みとして、下記を推進してまいります。

- グローバル人材の交流と育成: APU の学生とエターナルホスピタリティグループの従業員との交流を促進し、多様な視点を持つリーダー人材を育成します。
- 多文化共生に基づいた新規事業創出: APU の国際教育寮「APハウス」や鳥貴族別府店でのワークショップなどを通じ、世界各地の食文化や価値観を学び、国境や文化を越えて支持される新しいビジネスを共同で研究します。
- インクルーシブな社会への貢献: 外国人労働者や多様なバックグラウンドを持つ人々が、共に輝ける社会の実現に向けた取り組みを深化させます。

代表コメント

立命館アジア太平洋大学 学長 米山 裕

このたび、株式会社エターナルホスピタリティグループとの包括連携協定を締結できましたことを、大変嬉しく思います。

本学は、多文化・多国籍環境を強みに、地域と世界をつなぐ教育・研究を推進してまいりました。一方、エターナルホスピタリティグループは、グローバルに事業を展開しながら、多様な人材が活躍できる組織づくりと新たな価値創出に取り組まれています。

本協定により、両者の知見と実践の場を融合し、学生をはじめとした様々な関係者が社会課題に取り組みながら価値創出を進める機会をさらに拡充してまいります。ここ別府から、多文化でインクルーシブな社会の実現に向けた取り組みを発信し、地域・社会・世界の持続的な発展に貢献してまいります。

株式会社エターナルホスピタリティグループ 代表取締役社長 CEO 大倉 忠司

当社グループが掲げる「Global YAKITORI Family」というビジョンは、焼鳥という日本が誇る食文化を通じて、国境や人種を超え、世界中を明るくしていくことを目指すものです。

多様な価値観を持つ学生が集まる APU は、私たちが目指す多文化共生社会を体現する存在です。この度の連携により、地域経済の発展のみならず、グローバル社会をリードする人財の育成においても、APU の皆様と共に取り組めることを大変心強く感じております。

会社概要

<立命館アジア太平洋大学 概要>

所在地：大分県別府市十文字原 1-1

代表者：学長 米山 裕

設立：2000 年 4 月

URL：<https://www.apu.ac.jp/home/>

世界 118 カ国・地域(2025 年 11 月 1 日時点)出身の外国人留学生が学生の半数を占め、THE 日本大学ランキング 2025 では「国際性」全国 2 位、「教育充実度」全国 3 位の評価を受けています。多文化多国籍環境のもとで、協働学習や日英 2 言語での教育を提供し、グローバル教育をけん引しています。

<株式会社エターナルホスピタリティグループ 概要>

所在地：大阪市中央区淡路町 4-2-13 アーバンネット御堂筋ビル 20 階

代表者：代表取締役社長 CEO 大倉 忠司

設立：1986 年 9 月 19 日

事業内容：グループの経営戦略策定、経営管理及びそれに付随する業務

URL：<https://eternal-hospitality.co.jp/>